

決 議

臨床研修医制度の強引な導入で決定的となった医師不足問題。そしてついに医療崩壊は始まった。地域の医療を担う勤務医が悲鳴を上げて職場を離れ、病院は閉鎖に追い込まれ、患者はただ泣くしかない。しかし、国にその危機意識は乏しく、今回の診療報酬改定においても、医療崩壊を防ぐために、必要十分な病院勤務医対策の財源を捻出しようとはしない。今回は診療所の財源をまわすことなどでなんとか対策を講じたが、このままでは診療所にも連鎖し、地域医療が崩壊することは明らかである。

しかし、このまま絶望してばかりではいけない。我々医師には国民のため、これ以上の医療崩壊を防ぐ責務があるからである。かかる危機的状況に鑑み、ここに確固たる決意のもとに左記の事項を強く主張する。

記

- 一、医師不足解消のため、臨床研修医制度の研修期間見直しを要望する。
- 一、医療崩壊を止めるために、必要な財源確保を強く求める。
- 一、患者負担の際限なき増加に断固反対する。
- 一、介護難民、医療難民を生む機械的な療養病床の削減に強く反対する。
- 一、制限医療や格差医療そのものである混合診療の全面解禁を断固阻止する。
- 一、不合理を極める控除対象外消費税の解消を強く求める。

右、決議する。

平成二十年三月八日